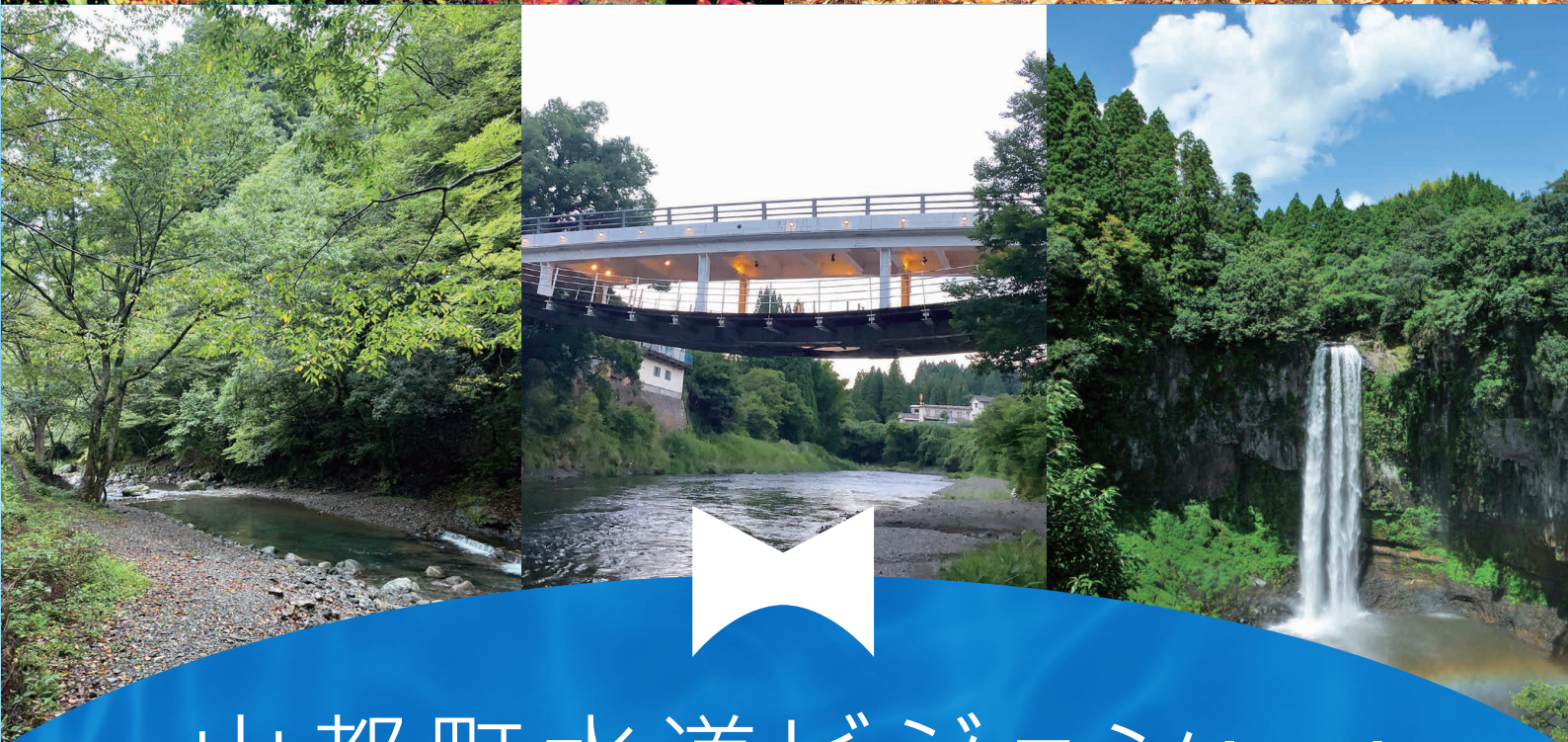


山の都、
おいしい水を
守る



山都町水道ビジョン【概要版】

| Waterworks vision The Town of YAMATO |

令和8年3月

熊本県



山都町

YAMATO-CHO KUMAMOTO/JPN

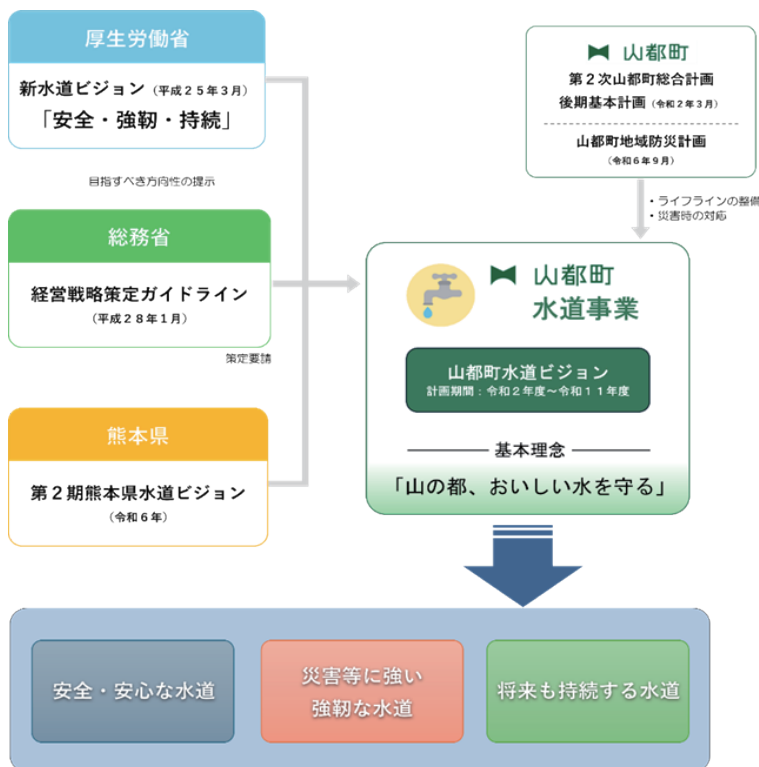
中間見直し

水道ビジョン改訂にあたって

令和2年7月に「山都町水道ビジョン(令和2年度版)」(以下、令和2年度版ビジョン)を策定し、基本理念「山の都、おいしい水を守る」のもと、水道の理想像を目指し実施方策に取り組んでいます。

このたび、令和2年度版ビジョンの取り組みを振り返り、現在の山都町の水道事業が抱える問題や課題を改めて整理しました。これから先の将来も、町民の皆様が安心して質の高い水道サービスを提供するため新たな解決策や優先すべき目標をまとめた「山都町水道ビジョン(令和7年度版)」(以下、本ビジョン)に改訂いたしました。

計画の位置づけと今回の見直しについて



山都町水道ビジョンは、山都町の「第2次山都町総合計画後期基本計画」、「地域防災計画」等の上位計画を反映し、策定した山都町水道事業における最上位計画です。

令和2年7月に策定された「令和2年度版ビジョン」は、計画期間を令和2年度～令和11年度の10年間と定めており令和6年度を以って半期となる5年が経過しました。

今回は、令和2年度版ビジョンで掲げた施策目標に対する取り組み状況を評価し、今後5年間の課題を再設定することで、町民の皆様により質の高い水道サービスを提供するために見直しを行うものです。

基本理念

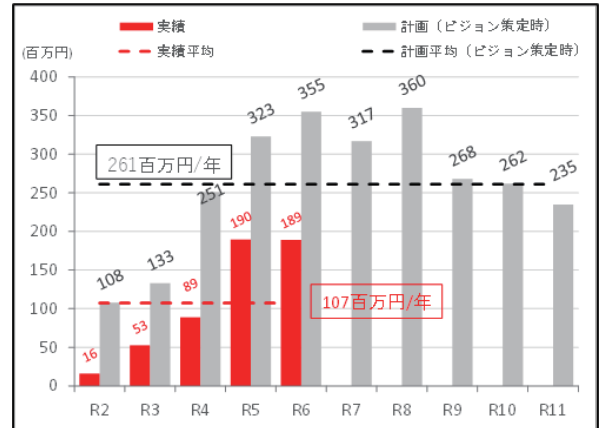
水道は、安全・安心で豊かな生活を送るために不可欠なライフラインです。現在、施設や管路の更新および耐震化を急いでいます。一方で、人口減少による料金収入の減少や、人材の不足など、多くの深刻な課題にも直面しています。

これらの課題を乗り越えるため、共通目標である「山の都、おいしい水を守る」の基本理念のもと、本ビジョンを改訂しました。

山の都、おいしい水を守る

建設投資の実績

水道施設を正常に保ち、飲み水を安定して届けるためには計画的な設備の更新が欠かせません。令和2年度版ビジョンを策定して以降、私たちはこの計画に基づき整備を進めてきました。過去5年間の整備費用は、当初の予測を下回る1年あたり平均107百万円となりました。大規模な施設改修に先立ち、施設規模の適正化を図るため、漏水調査と修繕を優先して実施したためです。また、補助金を最大限に活用して皆様の負担を抑えるため一部工事の時期を調整したことも影響しています。



施策目標と進捗状況

現在、ほとんどの項目で取り組みに対して実行し着実に成果を積み上げています。これからの5年間も継続して取り組んでいきます。

一部、未実施の施策については検討中となっておりますが、これらは内容の重要度の再精査や関係機関との調整が必要であり、時間を要する内容です。これらについても、優先順位を考慮しながら適切なタイミングでの実施を目指し、引き続き検討を進めてまいります。

安 全	施策 1	水源保全対策の強化	継続中	
	施策 2	クリプトスポリジウム対策の強化【重点施策】	継続中	
	施策 3	水質管理体制の強化	継続中	
	施策 4	鉛給水管の解消	継続中	
	施策 5	貯水槽水道の適正管理の指導	継続中	
強 靱	施策 6	老朽化管路の更新と耐震化【重点施策】	継続中	
	施策 7	基幹施設の更新と耐震化	継続中	検討中
	施策 8	危機管理体制の強化【重点施策】	継続中	検討中
持 続	施策 9	効率的な水道施設の再構築【重点施策】	継続中	
	施策 10	老朽化設備の計画的更新【重点施策】	継続中	
	施策 11	水道料金の適正化【重点施策】	継続中	
	施策 12	投資の最適化【重点施策】	継続中	
	施策 13	広域連携の推進と官民連携手法の検討	継続中	検討中
	施策 14	技術の継承と人材育成	継続中	
	施策 15	利便性の向上	継続中	
	施策 16	情報公開と住民参画	継続中	

重点施策の抽出と目標設定

施策のなかで優先度の高いものを重点施策として位置付け、目標値を設定しました。以下7つの施策について、目標を達成すべく計画期間中の実施を目指します。

	基本施策		具体的施策	目標または目標値
安全	2	クリプトスポリジウム対策の強化	紫外線照射設備の導入	毎年事業費を計上
強 靱	6	老朽化管路の更新と耐震化	管路の更新率	1.00%/年
	8	危機管理体制の強化	必要資器材の拡充・点検	1回/年
持 続	9	効率的な水道施設の再構築	ダウンサイジングの検討	更新計画の策定
	10	老朽化設備の計画的更新	設備の更新	50百万円/年
	11	水道料金の適正化	総括原価の算出	3～5年毎に見直し
	12	投資の最適化	財政計画の見直し	3～5年毎に見直し

投資・財政計画

山都町では、令和2年度版水道ビジョンに基づき、老朽化管路の更新や設備の耐震化などを計画的に進めてきました。今回の見直しでは、これまでの5年間の実績を分析し、今後5年間の投資計画を見直したうえで、財政計画に反映させています。

◆投資計画の見直し

将来に向けてより良い水道を維持するため、今後の投資計画を見直しました。以下、3つの重点施策を実施し、年間400百万円を目標に設備の整備や更新を進めてまいります。

重点施策2:クリプトスポリジウム対策の強化

山都町の水源は清浄ですが、不測の事態にも対応できるよう安全対策を強化します。具体的には紫外線照射装置を順次導入し、計画的に設備を整えてまいります。

重点施策6:老朽化管路の更新と耐震化

現在、老朽化した管路が多くあり、漏水対策が急務です。今後も、病院や学校などの重要拠点へつながる管路を優先的に耐震化し、災害時でも水が止まらない強靱な水道システムを整えていきます。

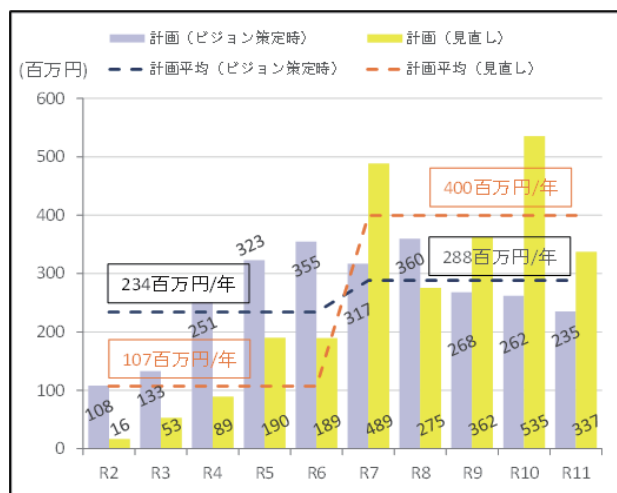
重点施策10:老朽化設備の計画的更新

安全な水を届けるため、水道施設の維持は欠かせません。町内の施設は高度成長期に作られたものが多く老朽化が進んでいます。前期に続き計画的に新しく作り替えていきます。

<事業費一覧>

施策	総事業費 (百万円)
クリプトスポリジウム対策	780
老朽化管路の更新と耐震化	830
老朽化設備の計画的更新	388
総計	1,998

<建設投資額の推移>

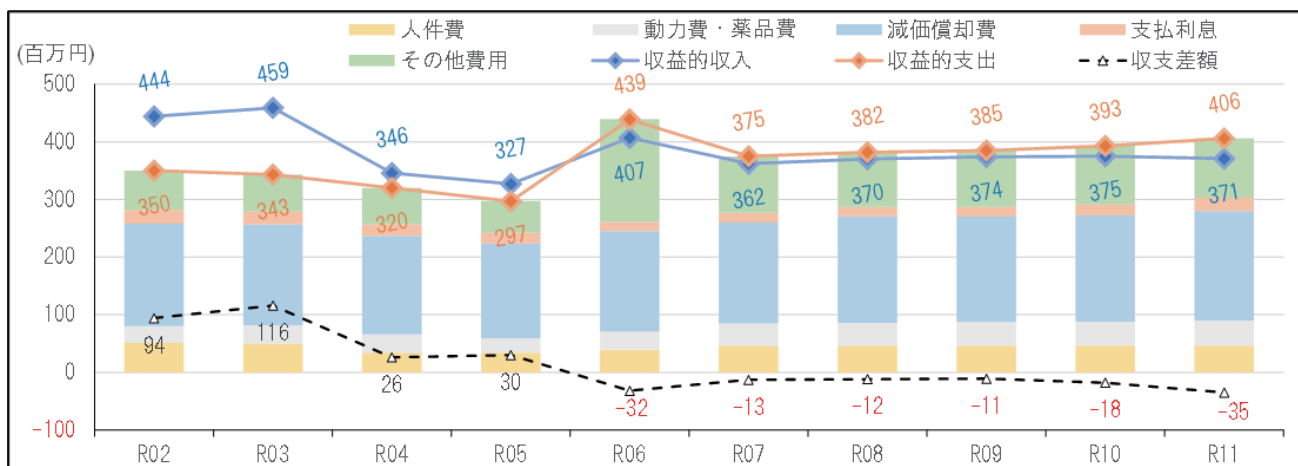


◆財政計画の見通し

前期の振り返りと 今後の見通し

収益的収入は、人口減少に伴う給水需要の減少により令和11年度には約371百万円まで減少する見込みです。一方、収益的支出は老朽化対策や物価高の影響で約406百万円にまで増加すると予測しています。このままでは赤字が拡大し、厳しい経営状況が続く見通しです。

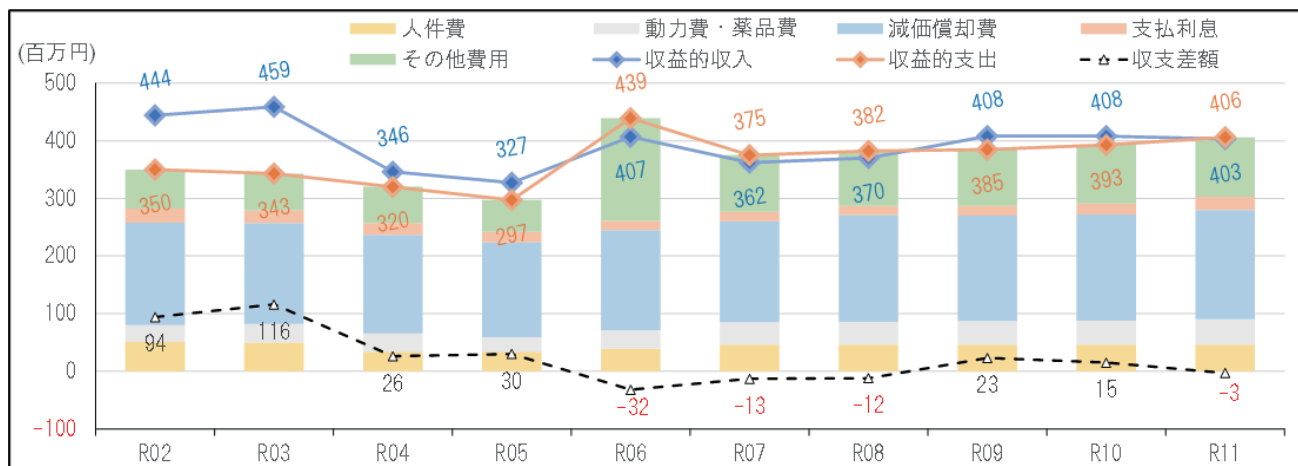
<収益的収支の予測>



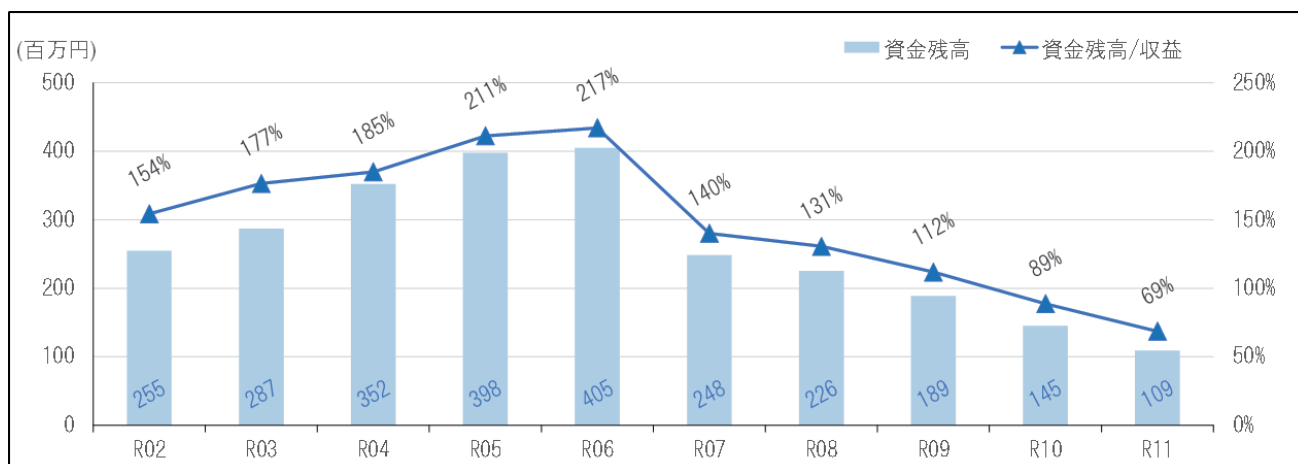
料金改定による 将来見通し

将来にわたり水道を守るため、運営費を料金収入でまかなう経営への改善が不可欠です。この対応として、令和9年度に約20%の料金改定を検討しています。十分な資金を常に確保できる状態にすることで、不測の事態にも対応できる安定した経営体制を築いてまいります。

<収益的収支の予測(令和9年度料金改定)>



<資金残高の予測(令和9年度料金改定)>



山都町水道ビジョン【概要版】

〈 中間見直し 〉

環境水道課

〒861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町 6 番地
TEL 0967-72-1111 FAX 0967-72-1080